

# 京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2084回★★ 蕎麦粒山△(1,627)	6/4(火)～5(水)	三橋 勉 (581-3562)	京都-(東名神)-相良牧 之原IC-(R473)-小平…蕎麦粒山
テント泊のため、参加希望者は、必ず、担当者まで連絡して下さい。			
第2085回★★ 伊勢 七洞岳I△(778.3)	6/15日(土) 6:00 壬生出発	岡田 茂久 (790)	京都東IC-栗東IC-関 IC-勢和多伎IC-野原 …七洞岳…野原-勢和多伎 IC-帰洛
山頂直下の大岩壁から、新緑の山々と熊野灘から伊勢湾までのリアス式海岸の最高の展望を楽しもう。時間があれば、獅子岳(733.3m)までの縦走も考慮。 マイカー山行ですので、参加希望者は事前に連絡を下さい。 地図 1/2.5万図 脇出, 国東山			
第2086回★★ 中津灰山△(746.1)	6/22日(土) 8:00 壬生集合	大槻 雅弘 (703)	壬生-須知-睦寄-故屋… 中津灰山△746.1…P754… 故屋
マイカー山行ですので、参加希望者は事前に連絡を下さい。 地図 1/2.5万図 丹波大町			
第2087回★★ 大峰 行者還岳△(1,546.2)	6/22(土)～23(日) 22日 12:00 竹田駅西口集合	井戸 澄夫 (822-9175) (810)	京都-(R24)-行者還 トンネル西口(幕営)…行 者還岳頂上往復
マイカー山行ですので、参加希望者は事前に連絡を下さい。			
<b>今月の集会</b>		<b>企画運営委員会</b>	
日時	6月11日(火) 18:00	日時	6月21日(金) 18:30
場所	厚生会館4F 大教室	場所	厚生会館4F 大教室



今年のゴールデンウィークは天候に恵まれて、各地の人出も多かったようである。昨年は阪神大震災の後で、出かけるのを自粛した人が多かったようであるが、今年はほぼ回復したようである。ゴールデンウィークも民間企業では4月27日から5月6日まで10連休とするところが多かった。もちろん我が交通局では、バス・地下鉄の営業部門は年中無休であり、世の中には休日こそ忙しい職業が数多くある。しかしながらもう少し連続した休暇が取り易くなれば、随分と活動範囲が広がるのではないかと思う。10日間の連続休暇があれば、日本全国どこの山へも行ける。5月なら東日本では残雪が楽しめ、西日本では新緑が楽しめる。

今年のゴールデンウィークは好天に恵まれ、幸いにして遭難のニュースがなかった。5月といえども高山は、一旦吹雪けば、容赦ない牙を向けてくるので要注意である。小生も今年は初めて春の立山を楽しんだ。そして道中では今年2度目の桜を楽しんだ。ひとつは海津大崎の桜である。湖岸道路いっぱい張り出した桜のトンネルはまさに満開であり、見事の一語につきた。もうひとつは立山山麓の桜である。着いたときは7分咲きであったのが、下山したときには満開になっていた。桜前線は順次北へ上がり、5月中旬には北海道の桜が満開だという。立山の室堂は観光客・スキーヤー・登山客で賑わっていた。立山連峰、後立山連峰は吸い込まれていくような美しさである。黒部湖までのロングコースの滑降は危険を伴うが、人を魅了せずにはいない。山小屋の温泉につかりながら、来年はもう一度来ようか、それとも八甲田あたりにして、弘前の桜でも見に行くかなど考えながら幸福感に浸りきった。

(H.8.5.12 記 S.I.)

## 烏帽子山

大槻雅弘

山容が、烏帽子に似ているから、名づけられた烏帽子山。コンサイス日本山名辞典では、烏帽子山は22山、烏帽子岳は41山もあって、合わせて63山もある。知られているように烏帽子とは、奈良時代以来用いられた黒塗りの帽子。烏は元来「う」と呼んだものが「え」に変わったといわれる。

遠くよりみて、一見烏帽子のように細くとんがった山に多くつけられたようである。

京都府の「福知山西部」1/25000地形図を見ると、兵庫県との県境に、この烏帽子山△512.5mがある。県境に500m以上の三角点がある山は、この他に親不知（おやしらず）△604.6mがあるが、二山ともまだ登っていないので、まず遠くの烏帽子山から登ることにした。

福知山市内を抜け、新庄でR9と分かれ、R429に入る。この道は、榎峠を越え兵庫県に通じている。烏帽子山へは、峠の手前の集落、談だんから分かれ西にある小牧の集落からスタートすることにした。

ルートは、小牧の外れから烏帽子山へ登って、府県境を南下し、梨木峠からR429へ出て談へ下る周回コースを採ることにした。

小牧の集落を過ぎて、下戸きげとから千原峠へと向う道が、拡幅された所にある谷を、右岸沿いに山道へ入った。この道へ入る前に、石碑があったのでその横から斜めについた山道を登ったが、すぐに墓地に突き当たってしまった。引返して20～30m西が登り口になるので、石碑にまどわされずに注意したい場所である。この谷沿いの道は、結構地元の人に利用されているようでよく踏まれた道だ。途中、杉の木が一部倒れていたものの、P368から東に派生した尾の鞍部まで歩きやすい道であった。

鞍部は曇り空ではあったが、見晴らしもよく、春風が一汗かいた肌に心地よく吹き抜けて、1本立てるのに恰好の場所であった。そこからは、P368の尾と腹を巻く道に分かれたので、尾根を忠実にとることにした。P368から尾根は南西に振り、烏帽子山と梨木峠を結ぶ府県境に乗った。その県境分岐点少し手前は、疎林の急斜面であったが、スタートしてから1時間で着くことが出来た。

分岐から山頂までは1ピッチで、兵庫県側は明るく見渡せたが、京都府側は暗く樹林の中であった。

最後は膝元ぐらいのササをかき分け、2箇所深くえぐられた所を過ぎると、頭部がボロボロに欠けた三角点の烏帽子山に着いた。

山頂には、戦国期に築かれたと言う烏帽子山古城跡の石碑があり、「悠遠の荒れ果つ城跡や夕

日秋「えぼし城へいげい山河春浅く」と句が刻まれていた。

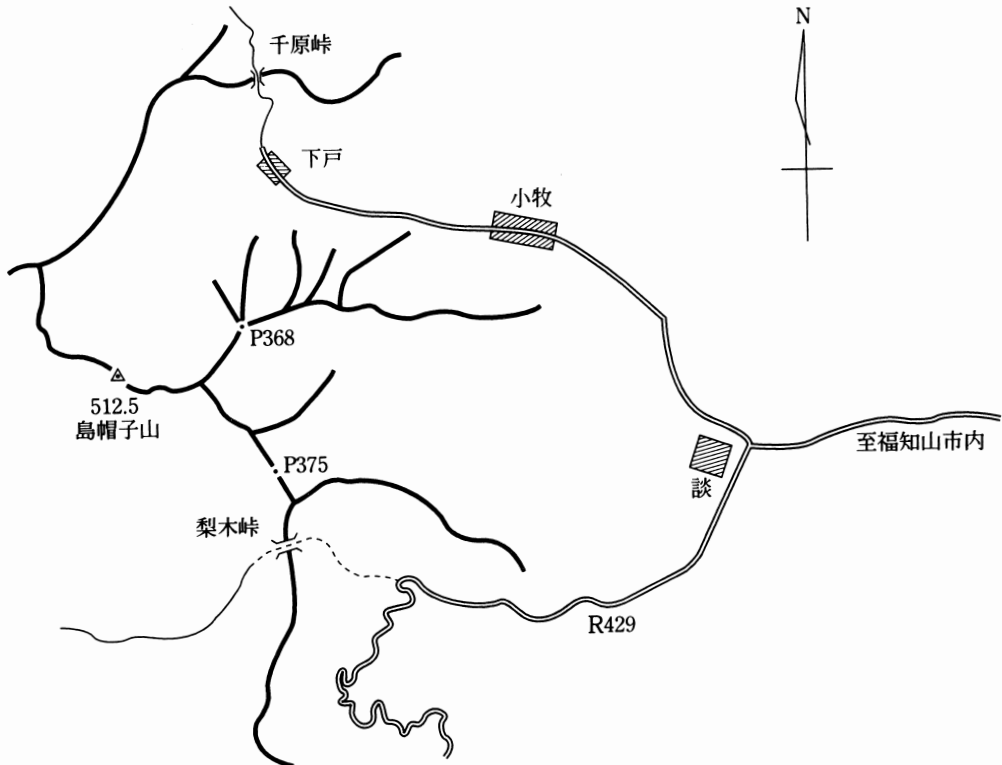
なるほど、先程三角点手前の2箇所の窪みが、城跡を示す堀切であったことがうなずける。山頂からの展望は、杉木立の間から粟鹿山、大江山、三岳山や福知山市内が望めた。

食後、山頂からの下りは国境を南下することにした。比良や愛宕のように、多くの登山者が登るでなし、かろうじて尾根筋に踏跡がある程度で、地図とにらめっこして進まねばならない。P375まではなんとか踏跡はあったが、梨木峠手前は崩壊がきつく、尾が崩れて径を捜すのに苦労した。でも、なんとか古い径跡を見つけ、最後は梨木峠へピッタリと下り立つことが出来た。

峠からR429までは、地図の破線どおりしっかりした道があった。今回のコースは、ちょうど山道と車道が半分づつであり、梨木峠から国道429号に出たといっても、ほとんど車の通らない国道であり、山間を走る田舎道をのんびりと談まで歩き、車止へと戻った。

R429を郵便配達の若い兄ちゃんが、大声を出して歌を唱いながらバイクで走り去るのが、田舎の国道かと、ホホエマしく感じた山行であった。

## 概念図



## 立山スキーツアー

井戸澄夫

4/26(金) 予定していた人が次々とリタイアし、結局単独行になった。

天気が悪ければ中止するつもりであったが、幸か不幸か絶好の晴天となった。一人での車の運転を考えて早目に出発し、午後11時には富山地方鉄道立山駅駐車場に着き、車の中でシュラフにくるまって眠った。

4/27(土) 朝早くから室堂を目指す観光客やスキーヤーでケーブル駅はいっぱいであった。約40分待って7時30分のケーブルに乗り、美女平からはバスで室堂まで雪の壁を見ながらの旅である。室堂からは青空を背景に、雪をすっぽりとかぶった立山、剣、奥大日、浄土の山々がそびえ立っている。一ノ越までシールをつけて登高、日射しが強く暑い。東一ノ越へはトラバースぎみに滑るが、途中で雪が消え、夏道の岩稜を少し歩かねばならない。多くのスキーヤーは御山谷を下降していた。こちらのコースのほうがコンディションはよさそうである。東一ノ越からは目の前に針ノ木岳が直立している。南の方向には、薬師が雪をたたえ、槍・穂高が遠く見える。東一ノ越からの滑り出しは、急斜面であり、ナダレの跡も数ヶ所あり、新雪の後に滑るのは危険であろう。タンボ平から黒部平へは快適なダウンヒルである。ロープウェイの鈴なりの人がこちらを見ている。黒部平から黒部湖へは尾根をたどり樹林の間を抜けるが、最後は谷に滑り込んで湖畔に出る。黒部ダムからケーブルとロープウェイに乗り、滑ってきた跡を上空から見る事ができた。室堂から再びスキーをつけて山小屋へ着いた。雷鳥荘には大きな温泉浴場があり、24時間いつでも入浴できる。

4/28(日) 奥大日岳にも登りたいが、来年の楽しみに残して、天狗平～弥陀ヶ原～美女平を滑降することとした。室堂から弥陀ヶ原ホテルまでは、ずっと斜滑降である。ホテルからは、スキーヤーのため、室堂との間でバスを走らせている。そこから先は弥陀ヶ原の大雪原である。右側に大日の連山を眺めながら、ゆるやかな斜面をゆっくりと滑る。朝の陽光を背中に受けて、古人が弥陀の原と名付けた意味を考えながらゆっくりと滑った。

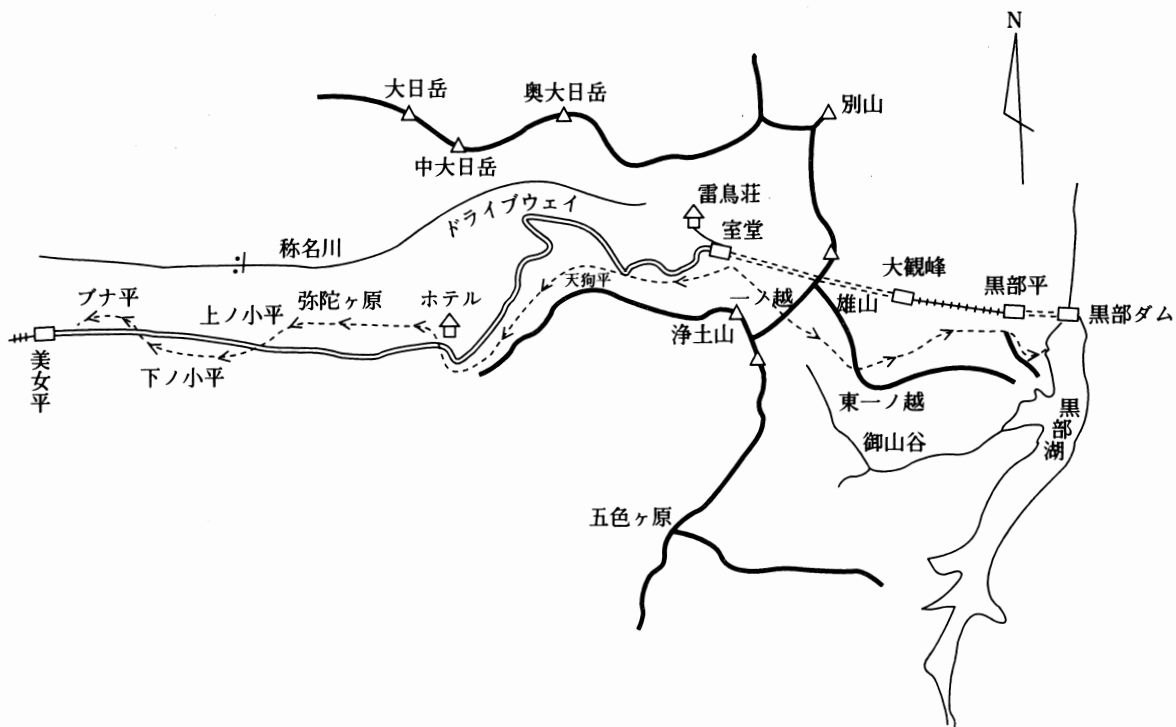
“ 雷鳥の飛ぶさま楽し 弥陀ヶ原  
真白き平原に 陽光眩し ”

澄夫

【コースタイム】

- 4/27 立山駅 7:30 (ケーブル) 7:50 美女平 8:00 (バス) 8:40 室堂 8:50 … 10:30 一ノ越  
 10:50 … 11:50 東一ノ越 12:00 … 12:50 黒部平 13:10 … 13:50 黒部湖  
 14:00 … 14:10 黒部湖 (ケーブル) (ロープウェイ) (トロリーバス) 16:00 室堂  
 16:20 … 17:00 雷鳥荘
- 4/28 雷鳥荘 7:00 … 8:00 室堂 … 8:45 天狗平 … 10:20 弥陀ヶ原 … 上ノ小平  
 … 下ノ小平 … プナ坂 … 14:30 美女平

【概念図】



## 【個人山行】

# 沖繩・徳の島紀行

坂井久光

3月27日のブルーハイウェイラインの大阪南港発18時のサンフラワー号に乗り、翌28日志布志港に上陸してバスで鹿児島へ。沿道の桜や菜の花は咲き揃い、ツツジも咲いていた。

天文館で下車。昼食は「四季」でキビナゴの刺身とおでんを食べ、その後温泉に行き旅情を楽しみ、新港に向い途中の食堂で夕食をとり、18:00発那覇行マリック汽船のユールク号に乗船。波はかなり高かったが、奄美大島名瀬港に入港した後徳の島亀徳港に入港。バスで花徳に行く。山部落の連絡が悪く、近くの店に頼んでタクシーを呼んだが、店の人がなかなか来ないから送ってあげると、近くの青年を呼んで千円で山へ。珍しい名の部落だ。漁港で、後ろは天城山が聳えている。此の島は二度目で、前は井の川岳を登った。今度は天城山533m一等三角点を登りに来たのである。「山岳巡礼」で宮崎氏（金剛山7,000回登山）。登路に幡旗が並び新興宗教のような感じとか。山麓のナゴロ神社（遺跡）を通り、林道を辿る。林道は天城山の肩を横切り南へ井の川岳に続く山脈に沿うて延びているのが明瞭に見える。好天で暑い位で、青紫色の朝顔やハイビスカスが咲いていた。又蝶やバッタが飛んでいた。延々と林道を登り登山口へ。朱書の大看板が立ち、ブリキに山は宝だとか讚美の標語が立ち並ぶ。登路は手入れされてなく、余り標語板が多いのでうんざりする。宮崎さんの云ったのはこれかと思った。山頂直下に里島元藏の生前墓が立ち祠の様だ。

宝沢草の咲く常緑樹林の急坂を登ると山頂で、ここにも木製の墓らしいものがあり、中央に一等三角点があったが、新設のものだった。

北に井の川岳、東に太平洋や山麓の田畑が絵の様だ。暫く休憩して展望を楽しみ往路下山。山麓の住民の話によると、町が林道を延長して町境附近の山地を伐採し農地を建設する計画だが、里島さん達が自然破壊だと反対していると聞き訪問した。彼は東京で働き奥さんを連れて帰り、故郷の山天城山を愛し、登路を開設して、その保全に余生を捧げ、生前墓を作る迄になり、登路や電柱に標語板を自費で作って山の貴さを住民に訴え続けている90歳の老人で、徳田氏（徳州会会長）と若い頃からの盟友とか。暫く対談して山部落の民宿山海荘で一泊。

翌30日一番バスで亀徳港に行き那覇行の汽船に乗船。沖繩の本部港に上陸。近くの民宿で一泊。翌31日バスで途中乗換で辺土辺行に乗り奥間で下車。与那覇岳への車道を登った。

比地大滝の分岐を過ぎ大國林道に入りハブの轢死体を見た。登山口2.8k65分の標柱があり、右側の地道に入る。次の分岐にも標柱があり、右に入り間もなく終点となり、山道が続き標識があった。緩い登り下りを繰返し常緑樹林の中の細道を登った。午後は雨との予報通り雨が降ってきて雨傘をさして登頂。一等三角点498mが山頂中央にあった。尚奥に503mの独標峰があり、

辿ると一峰を越え次のピークが最高点だが何の標示もない。後で聞いたが自然保護区なので、山岳会等の記念標識等を徴収されたとか。ハブにも天然記念物のヤンバルクイナにも会えず、往路下山し大宜味村の民宿で一泊。翌4月1日刃土古へ行き国頭村役場に行き、地図や村のパンフレットを頂き帰り、バスで名護で乗換え那覇に行き、又乗換えで首里城公園へ。入場料800円で守礼門の新建の首里城を見学。その夜は那覇の民宿で一泊し、2日発8時の鹿児島行に乗船、翌3日鹿児島港に上陸、バスで志布志港に行きサンフラワー号に乗り、翌4月5日大阪南港上陸、帰京した。

### 【個人山行】

## 白 猪 山 II △ 819.7 m

津 田 實

去日、吉田さんから『白猪山』へ行こうとの嬉しいお誘いがあり。例に依って資料漁り、我が家の本箱を掻き回したが、此れといった参考書がない。やっと見つけた「新ハイ関西版・26号」に「白猪山」が載っていたので熟読の後、地図屋に急行、1/2.5万 大河内・横野を買い求め、登山道の研究と、俄かガリベン。

『日本山名辞典「白猪山（しらいさん）三重県松阪市と飯南郡飯南町との境。紀勢線相可駅の西23km。高820m。高見山地東端に位置し、坂内（はんない）川の源頭をなす。』

「新ハイ誌」は「眼下に橿田川をはべらせ、花よし展望よしのなかなかの器量よしのやまである」と述べられている。誌の登山口と反対の坂内町（北面）から入った。

若かりしころ、木炭車でエンジンのご機嫌を伺い乍ら、喘ぎ喘ぎ昇った鈴鹿峠を吉田さんのワンボックスで軽快に越え、峠下の関ドライブインで好物の蕎麦を食さんと思っていたが、肝心のドライブインの建物は藻抜けの殻、何処かへ引っ越したらしい。『オカゲデ蕎麦の件は雲散霧消』。

伊勢自動車道を松阪ICで降り県道を南下、R166号を西進、辻原で国道と分かれ坂内（はんない）川の左岸を遡上する。

ところが余り気持ちよく走って、何時の間やら白猪山への分岐点を通り過ぎ、細野集落のとある農家のオバサン（失礼、女性）に丁寧に登路を教えて貰ってバック。

墓地の横手の道を木屋（もくや）集落に辿りついたが此処も「過疎の波」に襲われたか？空き家が目立つ。集落から林道を登ってゆくと「白猪山登山口」と立派な標識が建っていた。



登山道は小溪の右岸にある。入り口から少しく小さく「登山道」の標識があり、踏跡は溪に降りている。地図の破線は右岸沿いに記されているのだが？。

小溪を数回渡り返して本来の登山道に戻り、暗い杉林の中の一本道を斜度を上げてゆくと谷沿いと尾根に登る道の分岐点「大杉」の標識に突き当たる。

成程、看板に偽りなく見事な大木で幹が途中で二本に分かれ「看板の千年杉」の文字も宣るかな。実に立派なものであった。

前方に見える尾根を目指し只管「忍の一字」、地面を見つめて登るのみ。その急坂も少しく主尾根に辿り上り、右折すると「白猪山 ←」の標識が建つ地点で左折。どうも持参の地図の破線路と違うような気がするが？道がしっかりしているので指導標に従い、小さなコルを二つ越すと突然前方が開け、右手斜面に丸太作りの展望台。「新ハイ誌」が言われていた野草の宝庫に出る。

「山頂 →」の標識に導かれ、少し先のコルに上がると「頂上」と朱書きの標識の横に二等三角点標石が天空を指していた。「お主」に会いたくて遠く京からはるばるやってきたのだ。冷たい石の感触を十分に確かめて先ほどの展望台に登ったが座り心地が今ひとつ。縦走路に戻って昼食にする。

眺望は北・西面が開け、遠くに県境の山々、眼下に櫛田川と沿岸の村落が散見できる絶好の一等地。十分に展望を楽しんで往路を下山する。

#### 【コースタイム】

登山口 10:35 → 大杉 10:45 → 尾根分岐 11:05 → 山頂△ 11:15 ~ 12:00  
→ 大杉 12:20 → 登山口 12:26

96, 5, 10 天候 晴れ 参加者 吉田 武

## 例 会 報 告

例会No	目的 地	月 日	天候	担 当 者	参 加 者	記 事
2076	荒島岳	4月20日		岡田 茂久		都合により中止しました。
2077	烏帽子山	4月20日		大槻 雅弘		(別稿詳報)
2078	立山 スキーツアー	4月26日 ～28日		井戸 澄夫		(別稿詳報)
2079	富士と伊豆半島の 一等三角点を 巡る山旅	5月3日 ～5日		岡田 茂久	伊藤 潤治 渡辺 智生 国友 修 方山 宗子	(次号報告)

## 部 員 動 静

目 的 地	月 日	天候	参 加 者	記 事
沖縄・徳の島紀行	3月27日 く 4月5日		坂井 久光	(別稿詳報)
三国岳(久多) 天狗岳	4月13日	晴	大槻 雅弘	予想外の雪で、尾根筋では1m以上も雪があった。
火打山 △2,461.8m	4月28日	晴	大槻 雅弘	例年、GWは、笹ヶ峰牧場まで車が入るのに道路は2m以上の雪。スキーで往復12時間。久しぶりに登りごたえのある山であったのと、山頂からのスキーは最高であった。
白猪山 II△819.7m	5月10日	晴	津田 實 吉田 武	(別稿詳報)

# 雑 報

## △△△ 5月の集会

日 時 5月10日(金) 18:50～20:00

場 所 厚生会館 4F 大教室

出席者 (本局) 井戸, 岡田, 山岡 (高速) 大倉 (OB) 三橋, 渡辺

以上6名

内 容 例会報告ほか

## △△△ 4月の企画運営委員会

日 地 4月18日(木)

場 所 厚生会館 4F 大教室

出席者 井戸, 吉田, 大倉, 三橋, 山岡

内 容 例会予定, 岳連関連報告ほか

## △△△ 他山岳会の会報(受贈分)

4月号 わっぱ

5月号 京都北山, 近畿山行, 趣味の登山, 木雞, 青嶺, 北山, 一等三角点,  
京都山岳

記念号 跋涉譜創立15周年記念号

## △△△ 新指導員紹介

このたび, C級スポーツ指導員に合格された方を紹介します。(敬称略)

(本局) 松田 誠二

## △△△ お知らせ

・平成8年6月15日(土)～16日(日)に, 滋賀県山岳センターにおいて, 「救急講習会」が開催されます。詳しくは, 企画運営委員まで, お問い合わせ下さい。

### 夏山大会のお知らせ

今夏, ひさびさに, 山岳部主催で, 「夏山大会」を企画いたしました。

部員の皆様, お気軽に, ふるって, ご参加下さい。

ご家族連れも大歓迎です。

詳しくは, 山岳部報当月号の折り込みをご覧下さい。

部 員

113名

O B

近藤 薫  
森下 村重  
伊藤 潤治  
中村 織源  
牧 定夫  
田中 定勝  
山村 敏郎  
石田 和男  
山下 周道  
坂井 久光  
河村 清  
村岡伊太郎  
津田 実  
笈田 昭  
横井 襄二  
上田 隆  
村 宗松  
辻 久雄  
今井勇一郎  
石田 弘  
石川かず栄  
森本 清一  
楠 とし子  
坂田 利春  
上島 和彦  
鷺見壽末子  
中山 忠之  
鷺見 敏一  
渡辺 智生  
木原 滋

古市 昌造  
三橋 勉  
若山 裕孝  
井上 豊  
蛭子野俊雄  
武田喜久郎  
荒田又之助  
国友 修

本 局

井戸 澄夫  
角田 敏昭  
徳野 治  
田村 正弘  
伊豆蔵 清  
上村 次男  
柳田 晃  
岡田 茂久  
多田 義人  
室谷 和彦  
江草 哲史  
長谷川雅也  
宮川 勇  
出海 洋三  
足立 公弘  
木下 嘉造  
田村 忠司  
松田 誠二  
山元 誠一  
関本 俊雄

方山 宗子  
大槻 雅弘  
沢井 佳三  
川原 傳治  
原田加津子  
上島 弘子  
立花 雅彦  
大野 滋久  
広瀬光太郎

鎌田 利雄  
竹田 勉  
大杉 雅晴  
大塚 孝之  
政 道代  
平田 嘉輝  
馬淵 拓巳  
猪飼 康夫  
岩野 誠司  
山岡 昭弘  
今道 力  
井上 一夫  
児玉 宣治  
清水 康裕  
堀田 剛  
朝山 勝人  
西尾 直樹  
大切 照男  
岡本 孝

高 速

篠田 勝美  
今井 武夫

竹 田

大倉寛治郎  
清水 明

西 賀 茂

横田 義一  
佐々木敏雄

梅 津

吉田 武  
花岡 弘武  
阿部 義夫  
伊知地文男  
山口 雅直

五 条

田中 明  
山田 富男

醍 醐

岡本 勇  
和田 良一

横 大 路

岡本 義弘

錦 林

竹村 芳広

九 条

田中 忠久

烏 丸

台川 敦美  
山本 俊夫

洛 西

竹井 章  
井口 寿雄  
谷口多加志  
服部 正義  
牧野 健

市 役 所

北田 貞雄  
佐伯 康介

## 夏山大会のお知らせ

行 先 「加賀白山 2,702m」(登山と高山植物)

日 程 平成8年8月3日(土)～8月4日(日)

集 合 8月3日 午前7時 竹田駅西口

コ ー ス (3日) 竹田駅西口 7:00 (R162) 敦賀IC (北越) 福井北IC \_\_\_\_\_  
 白峰村 \_\_\_\_\_ 別当出合(驛)13:00 (蘆) 17:00 南竜山荘(泊)

(4日) 南竜山荘 6:30 (蘆) 室堂 9:00(蘆) 10:00 御前峰(昼食) 11:00  
 (蘆) 14:00 別当出合 \_\_\_\_\_ (入浴) \_\_\_\_\_ 京都 19:00

担当者 CL 吉田 武 , SL 大倉 寛治郎

募 集 山岳部員, その他(家族等)先着25名(バスをレンタル)

費 用 大人 15,000円 , 子供 10,000円

装 備 山小屋1泊の夏山登山装備

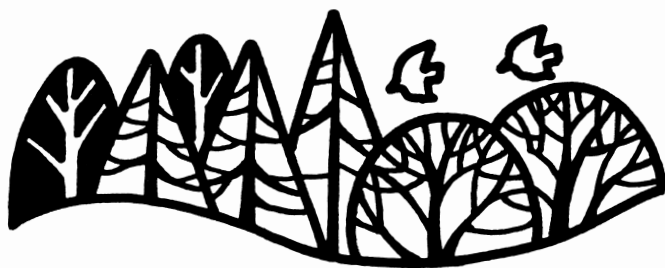
申し込み 下記申し込み書にて, 担当者まで送って下さい。  
 ☎615 京都市西京区上桂大野町7-23  
 吉田 武 (梅津整備 内653)  
 (自宅 ☎075-392-8145)

(切り取り線)

### 参加申し込み書

氏 名	住 所	生年月日	年 齢	血 液 型
(部員)	☎			
(部員外)	☎			

無線機のコールサインも書いて下さい。( )



家庭用品 } 総合卸商社  
衛生用品 }

## 日華商事株式会社

本店 京都市南区上鳥羽大物町13番地  
☎ 601 電話 (075) 672-6101(代)  
FAX (075) 661-7332

## 八坂運送有限会社

京都市伏見区醍醐新町裏町 24 番地の 4  
TEL (075) 571-1108

帆布・濾布  
テント・シート  
雨合羽

## 木村工業有限会社

京都市中京区ミブ車庫前  
TEL 801-5331 (代)

西大路営業所  
下京区西大路七条下ル  
TEL 321-0251

登山とアウトドア専門店

## 今、アウトドア派大集合!!

- 登山用品はもちろん、  
注目のスポーツ  
カヌーをはじめ、  
ひと味違う充実の  
品揃えは必見のもの!!



株式会社 **ロッジ**  
**LODGE**

営業時間 AM10:00~PM9:00 (年中無休)  
京都市中京区御池通高倉西入(千代田生命京都御池ビル2F)  
TEL. 075 (222) 0363 FAX. 075 (223) 5256

京都で唯一の山の専門店

Now Out door sports

ハイキング&キャンピング・クライミング  
アウトドアウェア・US製出品  
ポースカフト用品

**MOUNTAIN**

〒604 京都市中京区二条通河原町西入  
TEL 075(258)-0548

営業時間 AM10:00 - PM8:00 毎週火曜定休  
(株) スポーツ コニシ

葦よしの髄すいから天井のせを覗く… ⑬

桜から躑躅つつじへ、躑躅つつじから紫陽花あじさいへと自然はまことに見事な展開をみせ六月になった。紫陽花といえは数奇な運命に弄ばされたシーボルトの愛人・長崎丸山遊郭の其扇あふぎ(本人楠本お瀧)を想いだす。植物学者でもあったシーボルトは住職から譲り受けたアジサイを出島に植え、オタクサと呼んでいた愛妾・お瀧に因んで学名をHydangea Otaksa とつけたことはつとに知られている。シーボルト事件で国外退去をうけたオランダ商館の医師との間にもうけた娘おいねは日本初の女医として歴史に名を残した。

制作 株式会社 北斗プリント社  
〇七五―七九一―六二二五

建設省国土地理院発行地図販売特約代理店  
国土地理院空中写真(カラー・白黒)取次  
通産省地質調査所発行各種地質図取扱店  
各種地図製作並びに印刷  
地形図は、20万・5万・2万5千とも全国を常備しております。

 小林地図専門店

株式会社 **小林地図専門店**

〒600 京都市下京区烏丸通上珠数屋町東入る(3軒目北側)  
☎(075) 351-6598(代)

地下鉄：五条駅 5番出口・市バス：烏丸六条下車

結婚引出物・内祝・開店記念品・粗品  
仏事用お返し品・お中元・お歳暮用品

贈答品総合センター

厚生会指定

**サンコークラフト**

西島輝雄

左・川端丸太町下る下堤町88  
TEL (075) 771-3442

平成8年6月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局内

**京交山岳部**